

## 函館学2008

### 「幕末箱館人物伝」レジュメ

2008年11月8日（土）

担当 函館大学 小林 裕幸

#### 18世紀～19世紀

幕末の箱館を舞台に活躍した人たち

- 1、ロシアとの関係を中心に
- 2、ペリー黒船艦隊を迎えて

アメリカやヨーロッパ列強国との関係

- 3、第2次幕府直轄時代

奉行所に派遣された人たち

当時、箱館の主役というべき存在の民間人

## 武田斐三郎という人

- 1、箱館にやってくるまで
- 2、ペリー艦隊と斐三郎
- 3、そして、蝦夷地へ
- 4、フランス戦艦・コンスタンチン号の人たちとの出会い
- 5、その後の斐三郎の奮闘

産業の立ち上げと五稜郭と弁天台場

- 6、諸術調所と弟子たち

## 栗本鋤雲という人

- 1、箱館派遣まで
- 2、奉行所役人としての鋤雲
- 3、メルメ・ド・カシヨンとの関わり
- 4、江戸に戻ってからの活躍
- 5、フランス駐在公使（現大使）時代
- 6、明治維新後の生き方
- 7、その著書と弟子たち

## 箱館にやって来た人たち

### 外国人

ロシア	ラックスマン、ゴローニン、プチャーチン マホフ、ゴシュケビッチ、ニコライ
アメリカ	ペリー、ライス、パンペリーとブレーク
フランス	カション、コンスタンチン号の男たち ブリューネ
ドイツ	ガルトネル兄弟
イギリス	ホジソン、ブラキストン、ユースデン

### 民間人

大黒屋光太夫、高田屋嘉兵衛、渋田利右衛門、小嶋又次郎、  
續豊治、渡辺熊四郎など函館四天王

### 奉行所に派遣された人たち

竹内保徳、堀利熙、村垣範正、武田斐三郎、栗本鋤雲、  
中浜万次郎

### 諸術調所を巣立った人たち

山尾庸三、前島密、井上勝、吉原重俊、今井兼輔、  
蛭子末次郎、そして新島襄